

この説明書は本剤とともに保管し、服用の際には必ずお読みください

解熱鎮痛薬

**はれやかs**

第2類医薬品



使用上の注意



**してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと (眠気等があらわれることがある。)
4. 服用前後は飲酒しないこと
5. 長期連用しないこと



**相談すること**

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。(4)高齢者。(5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6)次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。

裏面もお読みください

肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強がみられた場合は、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

#### 成分及び分量 1日量（2包）中

アセトアミノフェン	600.0mg	アリルイソプロピルアセチル尿素	100.0mg
エテンザミド	1,000.0mg	無水カフェイン	80.0mg

添加物として、カルメロースカルシウム、カンゾウ末、白糖、果糖、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、アマチャ末、d-ボルネオール、l-メントールを含有します。

#### 効能又は効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

#### 用法及び用量

1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。ただし、服用間隔は6時間以上おいてください。

15歳以上	1回	1包	3歳以上7歳未満	1回	1/3包
11歳以上15歳未満	1回	2/3包	1歳以上3歳未満	1回	1/4包
7歳以上11歳未満	1回	1/2包	1歳未満		服用しないこと

#### ＜用法及び用量に関連する注意＞

- (1)用法及び用量を厳守してください。  
(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

#### 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。  
(2)小児の手の届かない所に保管してください。  
(3)他の容器に入れ替えしないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。  
(4)1包を分割した残りを服用する場合は、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。  
(5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先

大協薬品工業株式会社

お客様相談窓口 電話：076-479-1313

受付時間 9:00～17:00

（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 [http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)

電話：0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元



大協薬品工業株式会社

富山市水橋品等173